

川越中学校ワークショップ

報 告 書

令和 8 年 1 月

川 越 町

目 次

I	川越中学校ワークショップに向けた企画	1
II	川越中学校ワークショップの開催記録	3
III	川越中学校ワークショップのまとめ	11

I 川越中学校ワークショップに向けた企画

1. 目的

第7次川越町総合計画後期基本計画及び第3期川越町総合戦略の策定に向けて、若者の目線、若者ならではの発想で、川越町の強みをさらに強く、弱みを補うための提案、若者にとって暮らしたいまち、働きたいまちにするために、未来の川越町を担う中学生のみなさんと一緒に、魅力的な川越町にするための取り組みを考えることを目的に、川越中学校の生徒会を対象にしたワークショップを開催した。

2. 開催概要

- ①期 間：令和7年12月
- ②日 程：放課後（1時間半程度）
- ③会 場：役場及び川越中学校
- ④人 数：生徒会（1～2年生 5人）
- ⑤内 容：

その1 10年後に住みたい、働きたいまち

○住みたい、働きたいまちの要素を把握する。

その2 川越町の現状把握

○町職員等による川越町の現状や将来予測などの説明

その3 グループワーク(ワークショップ)

○まちの課題と理想のまちを考える。

・あなたが理想とするまちのイメージは？

・理想のまちにするために取り組むことは？

○若者に伝えるメッセージを考える。

・川越町の魅力が伝わるメッセージ(キャッチフレーズ)とは？

その4 プレゼンテーションの検討

○町長、幹部職員などへのプレゼン内容を考える。

3. スケジュール

回	日程	プログラム	会場
第1回	12月16日 (火曜日) 15:30~17:00	①アイスブレイク (あなたが住みたい、働きたいまちは?) ②川越町のまちの概況説明(現状と将来予測) ③まちの課題と理想のまちの検討	役場
第2回	12月22日 (月曜日) 15:30~17:00	①まちの魅力の検討 ②若者に伝えるメッセージの検討 【検討内容】 ・誰に伝えるか?(具体的な人物をイメージ) ・どんな魅力を伝えるか? (住み、働き、暮らし、遊ぶ...) ・どのような方法で伝えるか? ・16字以内で川越町の魅力が伝わるメッセージ (キャッチフレーズ)を考える ・3案くらいのメッセージを作り、みんなで投票し、1案に絞り込む ③発表会の準備	中学
第3回	1月14日 (水曜日) 16:00~17:00	①町長等へのプレゼン ②意見交換	役場

II 川越中学校ワークショップの開催記録


1. 第1回 川越中学校ワークショップ

第1回 未来の川越町を考えよう！

日 時 : 令和7年12月16日(火曜日) 15:30~17:00

場 所 : 川越町役場 2階 大会議室

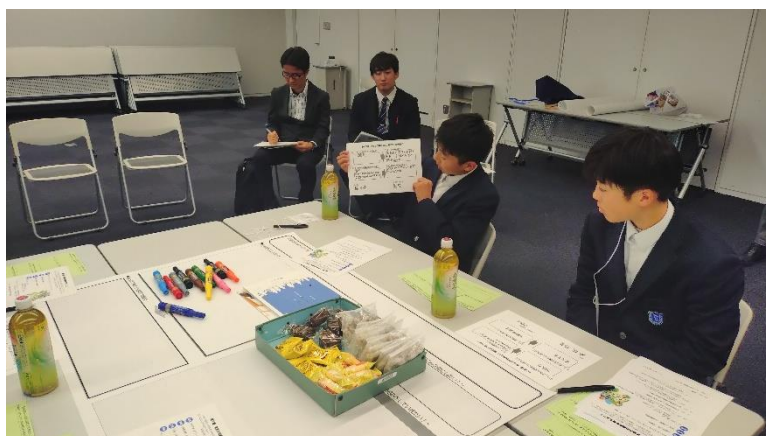
【プログラム】

- | | | |
|-------|---|--|
| 15:30 | ① 開会
・主催者 開会あいさつ
・趣旨及びプログラムの説明 |  |
| 15:35 | ② アイスブレイク ~あなたが住みたい、働きたいまちは？~
・10年後に住みたい、働きたいまちは？ | |
| 15:50 | ③ 川越町の現状と将来予想(説明) | |
| 16:00 | ④ まちの課題と理想のまちの検討
その1:川越町をこんなまちにしたい！
・あなたが理想とするまちのイメージは？
その2:町長になって、取り組むべきことを考えよう！
・理想のまちにするためにどのようなことに取り組む？
その3:アイデアをまとめよう！
・理想のまちとそれに向けた取組をまとめる。 | |
| 16:50 | ⑤ 発表！ | |
| 17:00 | ⑥ まとめ&次回に向けて | 【17:00 終了】 |



～あなたが住みたい、働きたいまちは？

①-1 住みたいまちは？	①-2 その理由は？	②-1 働きたいまちは？	②-2 その理由は？
川越町	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋や四日市に行きやすい。 ・国道1号が通っていて飲食店が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の中で陸上クラブがある企業に勤めたいため、その企業があるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会やマラソンで走って収入をもらえる仕事
川越町	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎過ぎず、都会過ぎず、便利で住みやすいから 	名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> ・プロ野球選手
川越町	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いが多く安心・安全な町だから 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりません 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療系の仕事
川越町	<ul style="list-style-type: none"> ・川越町に住んでいて、都会に行きたいと思ったことはあるけれど、川越町にたくさんの思い出があるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりません 	<ul style="list-style-type: none"> ・人のためになるような仕事



私が町長になったら〇〇なまちにするため、〇〇に取り組みます！

①川越町をこんなまちにしたい！（あなたが理想とするまちは？）
～〇〇のまち 川越町～

②町長になったつもりで、取り組みアイデアを考えよう！
～理想のまちに近づけるためにすること～

① 川越町をこんなまちにしたい！	② そのための取組アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・川越町は中学校も新しくなって、体育館もあって、スーパーも近く、川、海の自然はあるけれど、川越町と言ったらコレというものがハッキリ浮かばないから何か一つじっくりくるものを考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・珍しい建物、特産物、観光名所などを作る
<ul style="list-style-type: none"> ・川越町は野球ができる公園が少ないので、そういった公園がたくさんあるまち。 ・川越町でしかできない特別なものがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボールを使ったらいけない！」ではなく、「バットングをしてはいけない！」など、細かい部分でルールを決める。
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物とかをするとところがたくさんあるまち。 （食べ物とかではなく、福や雑貨など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・空いている土地は少ないと思いますが、空いている土地に服屋とかが来たいと思えるような土地にしたいため、土地をきれいにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・大型のショッピングモールがあるまち 	—
<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想される災害やその被害の規模、それに対して今、川越町で行われている対策をより多くの人々に知ってもらい、私たちにできることは何なのかを改めて考える機会を増やす。
<ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段しかないお店では高齢者や足が不自由の人とかのためにエレベーターをできるだけ付ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・10歳代～100歳代までがみんな交流できる町にするために、SNSでバズる。とにかく全国的に注目を浴びる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町長が動画を投稿する。変な風に扱われても良いから興味をひくようにする。



川越町の問題点

- 津波に弱い。
- 楽しく買い物することがあまりできない。
- 遊ぶところが少ない。
- インパクトがない
- バスるような場所がない。
- 川越と言えば埼玉県になっている。

具体的な取り組みアイデア

- 埼玉県に立場をとられているため、川越市とコラボする。
- これをネタにバズる。

- 護岸強化を行う。
- 災害が起きた時に使用するキットを配布する。
- 避難経路が明確なハザードマップを配る。

- 遊ぶ場所が少ないため、球技のできる公園を増やす。
- 今、球技ができない公園も、しっかりとルールを決めて球技ができるようにする。

- 中学生でも楽しめる場所をつくる。
 - ・公園は小学生くらいが多く、中学生はあまり遊ばない。
 - ・ショッピングモールとか、買い物できる所の方が中学生はテンションが上がる。(特にオシャレ、服とか好きな人)
 - ・他にも、アニメやアイドルなどのグッズを売っているお店
 - ・ファンの人達がわざわざ買いに来る

【第1回 川越中学校ワークショップのまとめ】

若者に伝えるメッセージ（キャッチフレーズ）

◆各自が記入したカード

川越町をこんなまちにしたい！	そのための取組アイデア
<ul style="list-style-type: none"> 川越町は中学校も新しくなって、体育館もあって、スーパーも近く、川、海の自然はあるけれど、川越町と言ったらコレというものがハッキリ浮かばないから何か一つつくってほしいものを考えたい。 川越町は野球がでける公園が少ないので、そういった公園がたくさんあるまち。 川越町でしかできない特別なものかほしい。 買い物とかをするところがたくさんあるまち。（食べ物とかではなく、福や雑貨など） 大型のショッピングモールがあるまち 災害に強いまち 	<ul style="list-style-type: none"> 珍しい建物、特産物、観光名所などを作る 「ボールを使ったらいけない！」ではなく、「バットを打ったらいけない！」など、細かい部分でルールを決める。 空いている土地が少ないと思いますが、空いている土地に服屋とかが来たいと思えるような土地にしたいため、土地をきれいにする。 予想される災害やその被害の規模、それに対して今、川越町で行われている対策をより多くの人々に知ってもらい、私たちにできることは何なのかを改めて考える機会を増やす。 階段しかないお店では高齢者や足が不自由の人とかのためにエレベーターをできるだけ付ける。 町長が動画を投稿する。変な風に扱われても良いから興味をひくようにする。
<ul style="list-style-type: none"> 人にやさしいまち 10歳代～100歳代までがみんなまで交流できる町にするために、SNSでバズる。とにかく全国的に注目を浴びる。 	

◆みんなで考えた川越町の問題点

- 津波に弱い。
- 楽しく買い物することがあまりできない。
- 遊ぶところが少ない。
- インパクトがない
- バスするような場所がない。
- 川越と言えれば埼玉県になっている。

◆みんなで考えた理想のまちのイメージ ～川越町をこんな町にしたい！～

◆みんなで考えた具体的な取組アイデア ～こんな取組をしたい！～

取組内容

- 埼玉県に立場をとられているため、川越市とコラボする。
- これをネタにバズる。
- 護岸強化を行う。
- 災害が起きる時に使用するキットを配布する。
- 避難経路が明確なハザードマップを配る。
- 遊ぶ場所が少ないため、球技のできる公園を増やす。
- 今、球技ができない公園も、しっかりとルールを決めて球技ができるようにする。
- 中学生でも楽しめる場所をつくる。
 - ・公園は小学生くらいが多く、中学生はあまり遊ばない。
 - ・ショッピングモールとか、買い物できる所の方が中学生とははテンションが上がる。（特にオシヤレ、服とか好きな人）
 - ・他にも、アニメやアイドルなどのグッズを売っているお店
 - ・ファンの人達がわざわざ買いに来る


2. 第2回 川越中学校ワークショップ

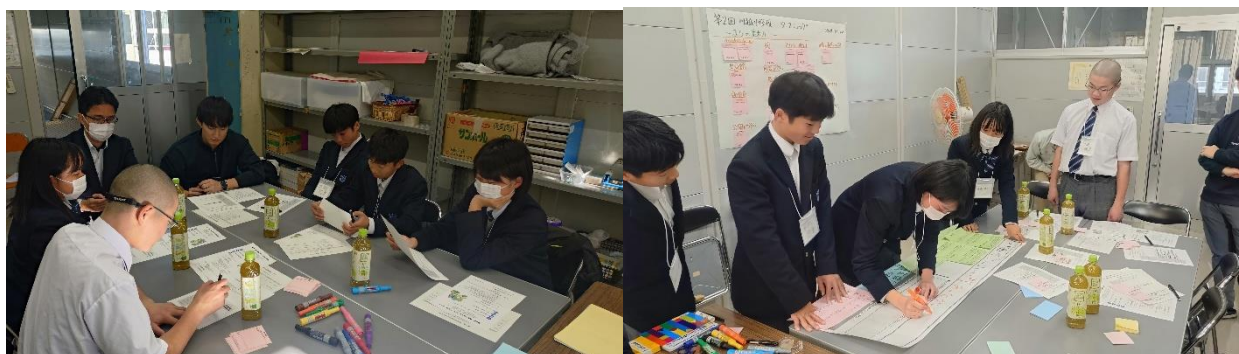
第2回 若者へ伝えるメッセージを考えよう！

日 時 : 令和7年 12 月 22 日(月曜日) 13:30~15:00

場 所 : 川越中学校 2階 生徒会室

【プログラム】

- | | | |
|-------|---|--|
| 13:30 | ① 開会
・本日のプログラムの説明 |  |
| 13:35 | ② 前回の振り返り | |
| 13:40 | ③ まちの魅力の検討
・川越町の魅力を出し合いましょう！ | |
| 14:00 | ④ 若者に伝えるメッセージを考えよう！
・誰に伝えるか？(具体的な人物をイメージ)
・どんな魅力を伝えるか？(住み、働き、暮らし、遊ぶ・・・)
・どのような方法で伝えるか？
などを考えながら、16字以内で川越町の魅力が伝わる
メッセージ(キャッチフレーズ)を考えましょう！
・3案くらいのメッセージを作り、みんなで投票！
・1案に絞ります。 | |
| 14:30 | ⑤ 成果報告会の準備
・第1回でまとめた模造紙へ、今回考えたキャッチフレーズを
入れ込み模造紙を完成させましょう！
・発表の準備 | |
| 14:50 | ⑥ 成果報告会の練習&講評 | |
| 15:00 | ⑦ まとめ&成果報告会に向けて | 【15:00 終了】 |



川越町と言えばこの魅力

キーワード	川越町の魅力
あいあいホール	・ あいあいホールがある。
	・ あいあいホールがある。規模も大きく、色々な人が来るイベントが多い。
児童館	・ 児童館がある
飲食店	・ 飲食店がたくさんある。
公園が多い	・ 公園が多い。
桜・自然が豊富	・ 堤防の桜
教育	・ 教育にも力を入れている。様々な授業
医療	・ 医療費が安い。(町が出している)
交通アクセス が良い	・ 都会へのアクセスが良い。
	・ やさしい人が多い。
	・ 各方面への交通アクセスが良い。
	・ 自然が感じられる。
便利	・ 色々と便利。桑名、四日市に近い。
	・ まちが小さく、色々な施設やお店にすぐ行ける。
	・ グラウンド、ホール、野球場などの内容も充実。
住みやすい	・ 田舎と都会の間で住みやすい。
やさしい人、親切な人が多い	・ 親切な方が多い。
小さなまちで、人が温かい	・ 町を挙げた祭りがある。(石取祭やふれあい祭りなど)
	・ 老若男女、たくさんの人との関わりがある温かいまち
	・ 自転車があれば町内を巡ることができる。
その他	・ 小さいまちで中学校が1つで、親密度が高い。
	・ 役場の人達との距離が、心理的、物理的に近い
その他	・ テラ 46 がある。

若者に伝えるメッセージ（キャッチフレーズ）

川越町 こんない町 あったかい！

◆各自が記入したカード

川越町をこんなまちにしたい！		そのための取組アイデア
・川越町は中学校も新しくなって、体育館もあって、スーパーも近く、川、海の自然はあるけれど、川越町と言ったらコレというものがハッキリ浮かばないから何か一つつくっていくものを考えたい。	・川越町は野球ができる公園が少ないので、そういった公園がたくさんあるまち。	・珍しい建物、特産物、観光名所などを作る。
・川越町でしかできない特別なものがほしい。	・買い物とかをするところがたくさんあるまち。（食べ物とかではなく、福や雑貨など）	・「ボールを使ったらいいじゃない！」ではなく、「バットイングをしてほしい！」など、細かい部分でルールを決める。
・大型のショッピングモールがあるまち。	・災害に強いまち。	・空いている土地は少ないと思いますが、空いている土地に服屋とかが来たいと思えるような土地にしたいため、土地をきれいにする。
・人にやさしいまち。	・10歳代～100歳代までがみんなまで交流できる町にするために、SNSでバズる。とにかく全国的に注目を浴びる。	・予想される災害やその被害の規模、それに対して今、川越町で行われている対策をより多くのの人々に知ってもらい、私たちができることは何なのかを改めて考える機会を増やす。
		・階段しかないお店では高齢者や足が不自由の人とかのためにエレベーターをできるだけ付ける。
		・町長が動画を投稿する。変な風に扱われても良いから興味をひくようにする。

◆みんなで考えた川越町の問題点

- 津波に弱い。
- 楽しく買い物することがあまりできない。
- 遊ぶところが少ない。
- インパクトがない
- バスのような場所がない。
- 川越と言えば埼玉県になっている。

報告会への提案シート

◆みんなで考えた具体的な取組アイデア ～こんな取組みをしていきたい！～

取組内容

●埼玉県に立場をとられているため、川越市とコラボする。

●これをネタにバズる。

●護岸強化を行う。

●災害が起き時に使用するキットを配布する。

●避難経路が明確なハザードマップを配る。

●遊ぶ場所が少ないため、球技のできる公園を増やす。

●今、球技ができない公園も、しっかりとルールを決めて球技ができるようにする。

●中学生でも楽しめる場所をつくる。

- ・公園は小学生くらいが多く、中学生はあまり遊ばない。
- ・ショッピングモールとか、買い物できる所の方が中学生とはは物でテンションが上がる。（特にオシヤレ、服とか好きな人）
- ・他にも、アニメやアイドルなどのグッズを売っているお店
- ・ファンの人達がわざわざ買いに来る

Ⅲ 川越中学校ワークショップのまとめ

1. 川越中学校ワークショップ 成果報告会

川越中学校・川越高等学校ワークショップ成果報告会

日 時 : 令和8年1月 14 日(水曜日) 16:00~17:00

場 所 : 川越町役場 2 階 大会議室

【本日のプログラム】

16:00 ① 成果発表

16:30 ② 質疑応答

16:50 ③ 記念撮影



#川越町 こんない町 あったかい!

川越市に負けない鬼才の町

～みんな考えて具体的な取り組みアイデア～

埼玉県に立場
をとりつゝゐる。

川越市とコラボする。
これをネタにバズる

選手は「場所が」
「球技のできる公
を」
「小ない」

増やす
今、球技ができな公園も、
しかりとルールを決めてでるようにする

護岸工事を行う。
災害が起きたときに使用するキットを
~~並~~経路が明確な「ザードマップ」
に配付ける。

中学生 ^かでも楽しめる場所

公園 小学生ぐらいが79いし、中学生
(はあまり好き)はない

、リッツアモールとか 買ひ込でさる
ところの方が 中学生とかは、
特にオナシ。服とか好きなん)

テンションが上がる。↑

他にも、アニメとか、アイドルとかのグッズ
が売、ていゝお店
ジャンの人とかがわざわざ、町から
でなく、電気が来に買える。

◆みんなで考えた川越町の問題点

- ・インパクトがない
- ・津波に弱い
- ・楽しく買い物ができない!
- ・川越といえは埼玉県になっている
- ・遊ぶところが少ない
- ・バスターミナルがない。

【質疑内容】

《質問 ①》

- ・わかりやすい発表で、当初はこのキャッチフレーズを作った思いや考えを聞いたかったが、きちんと説明があってよくわかった。
- ・これらの提案を考え、まとめる上で苦勞した点があれば教えてほしい。

《回答 ①》

- ・キャッチフレーズを作る際に、若者にとっての流行りなどを色々と調べ、それを川越町でどのようにするかを考えることが最も苦勞したところだと思う。
- ・困ったことは特になく、今回は貴重な機会となった。

《質問 ②》

- ・川越町に住み続けたいと思っている人がどれくらいいるか？

《回答 ②》

- ・5人全員が挙手

【さいごに】

西校長：中学生の皆さん、高校生の皆さん、本当にお疲れ様でした。一生懸命に考え、上手く堂々と発表していただいた。川越に住んでいることを活かした想いのこもった提案であった。高校生の提案はさすが高校生だなと思った。所々に数字が入ってわかりやすく、なおかつ具体的に取り組んでいけそうな提案であった。普段学校では、答えを求めることに一生懸命に取り組んでいると思うが、私は数学の教師なので答えは一つであるが、今回のワークショップも含め、実際に社会へ出たらこのように色々な方法があって、どれが正解かもわからない。今回のこのような機会で色々と考え、提案書として形にしたことは非常に貴重な経験になったと思う。この経験をまた学校に戻ってから活かしてほしいと思う。

城田町長：中学生の皆さんは生まれ育った川越町の思いをしっかりと伝えていただいたと思う。行政をやっていく中で他市町に負けないまちづくりを皆さん



と一緒にやっていきたいと思うので、今後も色々な意見を出していただけたらと思う。

また、川越高校の皆さんには長時間にわたって、ビジネスプランを実施に至るまで色々な角度から考えていただいた。町では現在、総合計画の後期基本計画の策定を進めているが、今回提案された実践的なビジネスプランが今後の川越町に大きく役立つと思うので、これからも皆さんとともに、町を良くするために取り組んでいけたらと思う。最後に、就職の際には町への就職もよろしくお願いいたします。



《記念写真》